学校規模適正化の検討は
基本方針の作成に着手している

議員　学校規模適正化に関する提言で、釜石小学校は令和10年度に複式学級の措置とある。学校規模の維持には学校統廃合の検討が必要では。

教育部長　教育委員会では、提言を受け、基本方針の作成に着手している。基本方針策定後には、具体的な計画を作成したい。

議員　市内小中学生の学力テストの結果と学力向上に向けた取組は。

教育長　令和5年度全国学力・学習状況調査の当市の結果については、小学校平均正答率は、国語は全国平均正答率よりマイナス3・2ポイント、岩手県平均正答率よりマイナス5ポイント。算数は全国平均正答率よりマイナス3・5ポイント、岩手県平均正答率よりマイナス3ポイント。中学校平均正答率は、国語は全国平均正答率よりマイナス1・8ポイント、岩手県平均正答率よりマイナス1ポイント。数学は岩手県平均正答率と同じで、全国平均正答率よりマイナス5ポイント。英語は全国平均正答率よりマイナス9・6ポイント、岩手県平均正答率よりマイナス1ポイントとなっている。学力向上に向けて、授業改善、小中学校の学力面での連携、ICTの活用推進、家庭学習の充実、授業づくりに関する研究推進に取り組む。

議員　今後、医師の高齢化や後継者不足などで、休日当番医制を担う医療機関が減少すると、救急医療体制を維持するのが難しくなるのでは。

市長　今後、診療所が減少することも想定されるため、当市に診療所を開設していただく取組をはじめ、岩手県及び大槌町と連携し、関係医療機関等との協力で救急医療提供体制の維持・確保に努める。

議員　ドクターヘリの活用で搬送にかかる時間を短縮する必要がある。現在の県立釜石病院の敷地内でヘリポートを整備するスペースを確保できるのか。病院新築時のヘリポート設置は計画されているか。

地域医療連携室長　ドクターヘリでの搬送先は岩手医科大学附属病院となっている。現在の敷地内では確保できない状況であると認識している。ヘリポートの設置は望ましく、急性期病院には必要なため、今後検討されると思う。

東部地区の子どもたちが通う釜石小学校

急性期病院…緊急・重症な状態にある患者に対し、高度で専門的な治療を提供する病院のこと。

工藤聡一郎
（令和クラブ）

工藤議員の動画はこちら

質問項目

- 地域医療について
- 教育行政について